

治療に活かす！ 栄養療法 はじめの一步



推薦のことば…………… 松枝 啓
はじめに…………… 清水健一郎

第1章 栄養療法って何ですか？

1. 誰も教えてくれない食事オーダー …………… 12
 2. 栄養療法で傷を治す!? …………… 16
 3. 栄養療法でMRSAに立ち向かう!? …………… 21
 4. 栄養療法で病院を変える!?～NSTという新しい文化～ …………… 24
 5. 世界の長寿食の結晶～ヘルシーランチの威力～ …………… 29
 6. 単なる栄養を超えたものとしての「食事」…………… 31
 7. 食品の3つの機能を知っていますか? …………… 34
 8. 病院の中はガイコツ，病院の外はメタボ …………… 38
- 章末問題…………… 43

思い出の栄養療法・ケースレポート ①褥瘡 20 / ②視床出血後の食欲不振 37

第2章 低栄養ってどんな状態？

1. 主観的に栄養状態を評価する …………… 46
2. 自分の皮下脂肪はどれくらい?～身体計測～ …………… 52
3. 血清アルブミン値をみてみよう …………… 59
4. 「低アルブミン血症＝低栄養」ではない!? …………… 62

5. アルブミンとCRPの関係	66
6. アルブミン以外に注目してみよう	71
7. 大事なものの何ですか？～やせるとはどういうことだろう～	75
章末問題	80

第3章 低栄養を改善させよう

1. 最高の栄養療法とは～経口摂取～	84
2. 必要なエネルギーをどれくらいにするか	87
3. 食べられない人にはどうする？～胃瘻と経鼻チューブ～	95
4. 経鼻チューブの「罪」	98
5. 胃瘻って何だろう？	103
6. 末梢静脈栄養という選択	109
7. ブドウ糖だけの輸液で本当にいいの？	113
8. アミノ酸って大事なの？	118
9. 脂肪アレルギーを克服しよう～プロポフォールの話～	123
10. 脂肪で脂肪肝を防げる！?	127
11. ビタミン、入ってますか？～ビタミンBとCの話～	132
12. 中心静脈栄養はどんなときにするの？	137
13. 中心静脈栄養のリスクとは	141
14. 中心静脈栄養のメニューを組むには	145
15. 微量元素を忘れないで	153
章末問題	157

思い出の栄養療法・ケースレポート ③やせ型女性の脂肪肝 131

第4章 経腸栄養と向き合う

1. やってみよう！経腸栄養	164
2. 半消化態ってどんなもの？	168
3. 栄養剤が腸に与える影響は？～栄養剤の消化と吸収～	174

4. 腸の栄養ってどんなもの？	178
5. 栄養剤って医薬品？ それとも食品？	184
6. 経腸栄養剤を選ぶ目を養おう	189
7. 経腸栄養は意外と怖い!?～嘔吐と下痢の恐怖～	195
8. 経腸栄養時の悪心・嘔吐対策	199
9. 聞きたくない言葉～先生、下痢になりました!～	204
10. 腸にもリハビリテーションが必要!?	208
11. <i>Clostridium difficile</i> (クロストリジウム=ディフィシル) という悪魔	211
12. まだまだあります～下痢の対策～	218
章末問題	221

第5章 栄養サポートから栄養セラピーへ

1. 重症敗血症に打ち勝つ	226
2. 敗血症のメカニズムを考える	231
3. 早く腸を使おう～ぐずぐずしている暇はない!?～	237
4. 血糖 200mg/dL は高いの!?	241
5. 栄養素のスーパースター～エイコサペンタエン酸 (EPA) ～	249
6. 栄養で傷を早く治すには	255
7. 黒船来航～オキシパー™の衝撃!?!～	261
章末問題	268

第6章 栄養療法の可能性を信じよう

1. ガイドラインの頼りなさ～自分でみつけ出す栄養療法～	272
2. 自分だけでは歯が立たない!?～チーム医療を促進するには～	274

●付録 もっと栄養療法を学びたい人へ	278
●索引	283

Column

1. ワシントンマニュアルの栄養療法を超えて	28
2. コミュニケーションの達人を目指す	42
3. 注目の栄養評価法 MNA [®]	57
4. 果てしない継続学習	79
5. 嚥下障害を伴う認知症と経管栄養	108
6. マラスマスが伝統的にどう認識されてきたか	117
7. クワシオルコルと母乳	122
8. 積極的な栄養療法の落とし穴	152
9. 紀元前の頑固職人、フェイディアスの哲学	156
10. インターネットを最大限に生かすために必要なこと	217
11. 鋭い観察眼が発見したクロストリジウム＝ディフィシル関連下痢症	220
12. モチベーションを高く保ち続ける	267

※ 章末問題で理解度をチェック

各章ごとに章末問題を掲載しています。本文で特に覚えて欲しい部分を問題形式で聞いています。ぱっと答えられない場合は当該箇所を読み返してみてください。すべて頭に入っている人ならその章の内容はバッチリです。次に進みましょう。

● 本書の登場人物



研修医

研修医：医師国家試験に合格して研修医になったばかり。医学部で栄養療法の勉強をしたことがないので、栄養の知識は必要ないと思っている。



しみず

しみず：7年目の内科医。現場に出てから栄養の奥の深さを知り、本気になって栄養療法に取り組みはじめた。あの手この手を使いながら研修医をその気にさせようとしている。